

## 平成28年12月定例会会議録（第3号）

平成28年12月8日 木曜日 午前10時00分開議

渋谷 佐輔 議長 五十嵐 智洋 副議長

### 出席議員（13名）

1番	宇津木 正紀	議員	2番	浅野 敏明	議員
3番	金子 豊美	議員	4番	内谷 邦彦	議員
5番	平 進介	議員	6番	鈴木 富美子	議員
7番	渡部 秀樹	議員	8番	今泉 春江	議員
10番	赤間 泰広	議員	11番	小関 秀一	議員
12番	五十嵐 智洋	議員	14番	安部 隆	議員
16番	渋谷 佐輔	議員			

### 欠席議員（3名）

9番	梅津 善之	議員	13番	蒲生 光男	議員
15番	町田 義昭	議員			

### 説明のため出席した者

内谷 重治	市長	遠藤 健司	副市長
齋藤 環樹	総務参事	泡渊 栄人	地方創生参事
松木 幸嗣	厚生参事	竹田 利弘	総合政策課長
高石 潤一	総務課長	渡邊 洋男	財政課長
桐生 芳弘	公共施設整備課長	松木 満	地域づくり推進課長
佐野 安広	税務課長	鈴木 広弥	市民課長
伊藤 亮一	健康課長	佐藤 隆	福祉あんしん課長
鈴木 敏久	子育て推進課補佐	堀越 俊一郎	監査委員
平田 裕	教育長	鈴木 國男	選挙管理委員会委員長
鈴木 榮一	農業委員会会長	谷澤 秀一	産業参事
青木 邦博	建設参事	遠藤 敏広	農林課長
手塚 慶一	商工観光課長	横山 照康	産業活力推進課長
多田 茂之	建設課長	種村 正一	上下水道課長
梅津 浩一	会計課補佐	横山 賢一	教育参事

鈴木博郎	学校教育課長	川村直人	文化生涯学習課長
小関浩幸	生涯スポーツ課長	鈴木良弘	選挙管理委員会事務局長
高橋洋一	監査委員事務局長	中田浩之	農業委員会事務局長
渋谷正通	消防主幹		

### 事務局職員出席者

飯澤常雄	議会事務局長	小林克人	補佐
若月由紀	議事調査主査	安達洋司	主任技士

### 議事日程（第3号）

平成28年12月8日 木曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 12番 五十嵐 智 洋 議員
  - 8番 今 泉 春江 議員
  - 11番 小 関 秀 一 議員
  - 10番 赤 間 泰 広 議員

### 本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

## 開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、9番、梅津善之議員、13番、蒲生光男議員、15番、町田義昭議員の3名であります。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、五十嵐智洋議員から資料の配付について申し出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

### 五十嵐智洋議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位6番、議席番号12番、五十嵐智洋議員。

(12番五十嵐智洋議員登壇)

○**12番 五十嵐智洋議員** おはようございます。

昨年10月開館した南陽市文化会館は、1,400余りの座席を要する世界最大の木材コンサートホールとしてギネスブックに認定されました。話題性と木造独特の音響のよさなど大変注目を集め宝塚歌劇団がこけら落とし公演を行い、地

方都市ではめったにお目にかかれない山下達郎、井上陽水、フジコ・ヘミングなどのビッグアーティストのコンサートが相次いで催され、今月25日予定の盲目の天才ピアニスト、辻井伸行日本ツアーは、一瞬でチケットが完売するなどまさに絶好調で、大ホールの稼働率は当初計画した3倍以上で推移してることです。1,400席を埋めるには、近隣市町だけでなく県外からも大勢の観客がお見えになり、東日本大震災以来苦戦の続いた赤湯温泉の宿泊客もふえ、全国から視察で訪れる人数などを想像すれば、文化会館建設は南陽市に大きな経済効果と活力をもたらした画期的な事業で、南陽市民は鼻高々といったところでしょうか。

この文化会館は、塩田前市長が建設計画を進めたものであり、建設費の高騰から予算がどんどん膨れ上がり、総工費70億円近くになったことや箱物行政批判の声が市民から上がり、一昨年の南陽市長選の大きな争点となって文化会館建設を疑問視する新人、白岩氏が、現職市長をダブルスコアで下すという皮肉な結末を生み出した因縁の建物なのであります。

南陽市文化会館は現在高い稼働を誇っておりますが、このまま何年も続くとは思えません。

長井市民文化会館は昭和49年完成の建物で来年築42年目となります。耐震診断をした場合、今後の使用が危ぶまれるのではと推測されます。耐震性に問題ありとなった場合、取り壊し新築するには数十億円の費用がかかりますし、耐震補強工事も相当の費用が必要なことから、一番利用が多い300人前後のイベントは学習プラザ、タスパークホテルコンベンションホールなどを使用し、年に数回の1,000人規模のものは南陽市文化会館をお借りするなどの発想があってもよいのではと考えます。

ご承知のように南陽市文化会館は市役所に隣接し、山形鉄道南陽市役所駅からすぐの場所にあり、フラワー長井線の利用にもつながるメリ